①令和6（2024）年度　教職課程の自己点検評価シート

評価項目			点検の観点	根拠資料等	自己点検・評価 （チェックリスト）
1. 教育理念・学修目標	1-1	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画	・具体的かつ明確な形で設定されている ・(人間社会学域学校教育学類・教職実践研究科・養護教諭特別別科の場合)教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と三つの方針との関係が必要に応じて意識されている	・教員養成の状況についての情報の公表Webサイト「本学における教員養成の理念・養成を達成する教員像」、「カリキュラム・ツリー」 ・(人間社会学域学校教育学類・教職実践研究科・養護教諭特別別科)3つのポリシーWebサイト	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	1-2	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定プロセス	・学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性の考慮が行われている	・目標及び計画策定のプロセスを確認できる資料 ・授業評価アンケート	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	1-3	教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の見直しの状況	・一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの学びの成果（以下「学修成果」という。）や自己点検評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われている	・授業評価アンケート ・見直しの状況がわかる資料	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
2. 授業科目・教育課程の編成実施	2-1	複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況	・複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われている	・教員養成の状況についての情報の公表Webサイト「教員の養成に係る授業科目」	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	2-2	教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備の整備状況	・ＩＣＴ（情報通信技術）環境（オンライン授業含む）、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されている	・金沢大学学術メディア創成センター「Services」 ・金沢大学附属図書館Webサイト	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	2-3	教育課程の体系性	・法令及び教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と対応し必要な授業科目が開設され適切な役割分担が図られている ・教職課程以外の科目との関連性が適切に確保されている	・教員養成の状況についての情報の公表Webサイト「教職課程の運営に係る全学的組織　学内支援体制・教員組織」	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	2-4	ＩＣＴの活用指導力など、各科目を横断する重要な事項についての教育課程の体系性	・教科の指導法に関する科目や教育の基礎的理解に関する科目等における関係科目において、教員として身につけることが必要なＩＣＴ活用指導力の全体像に対応して各科目間の役割分担が適切に図られている ・到達目標や学修量が適切な水準となっている	・教員養成の状況についての情報の公表Webサイト「教員の養成に係る授業科目」 ・Webシラバス	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	2-5	キャップ制の設定状況	・１単位あたりの学修時間を確保する上で有効に機能している	・履修規程 ・学域・学類の履修案内、オリエンテーションの配付資料等の該当箇所	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	2-6	教育課程の充実・見直しの状況	・学修成果や自己点検評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われている	・授業評価アンケート ・見直しの状況がわかる資料	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	2-7	個々の授業科目の到達目標の設定状況	・法令、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画、学習指導要領及び教職課程コアカリキュラムへの対応が図られている	・Webシラバス	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	2-8	シラバスの作成状況	・教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画と授業科目との関係、授業科目の目的と到達目標、内容と方法、計画、成績評価基準、事前学修と事後学修の内容等が明確に記載されている	・Webシラバス	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	2-9	アクティブ・ラーニングやＩＣＴの活用など新たな手法の導入状況	・授業科目の到達目標に応じ、少人数のアクティブ・ラーニングやＩＣＴを活用した新たな手法を導入し、「考える」「話す」「行動する」などの多様な学びをもたらす工夫が行われている	・Webシラバス	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	2-10	個々の授業科目の見直しの状況	・学修成果や自己点検評価の結果等を踏まえて充実が図られ、適切な見直しが行われている	・Webシラバス	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	2-11	教職実践演習及び教育実習等の実施状況	・教職課程において特に重要な役割を果たす教職実践演習、教育実習（学校体験活動含む）は、事前指導・事後指導を含め、大学の主体的な関与の下で適切に行われている	・Webシラバス	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
3. 学修成果の把握・可視化	3-1	成績評価に関する全学的な基準の策定・公表の状況	・成績評価基準に基づく評語と授業科目ごとに定められている到達目標の達成水準との関係等が明らかにされている	・金沢大学履修規程 ・学域・学類の履修案内、オリエンテーションの配付資料等の該当箇所	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	3-2	成績評価に関する共通理解の構築	・同一名称の授業科目を複数の教員が分担して開講している場合に成績評価の平準化を図ることができている	・Webシラバス ・成績評価の客観性を担保するための措置についてわかる資料	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	3-3	教員の養成の目標の達成状況（学修成果）を明らかにするための情報の設定及び達成状況	・教員養成の目標達成状況を明らかにするための情報が適切に設定されており、ある程度達成されている ・教職実践演習に向けた「履修カルテ」を適切に活用できている	・教員養成の状況についての情報の公表Webサイト「本学における教員養成の理念・養成する教員像」	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	3-4	成績評価の状況	・各授業科目の到達目標に照らしてできるだけ定量的又は定性的に達成水準を明らかにし、厳格に点数・評語に反映することができている ・公正で透明な成績評価という観点から達成水準を測定する手法やその配点基準があらかじめ明確になっている	・Webシラバス	■ 適切である □ 改善を要する事項がある

評価項目			点検の観点	根拠資料等	自己点検・評価 （チェックリスト）
4. 教職員組織	4-1	教員の配置の状況	・教職課程認定基準（平成13年７月19日教員養成部会決定）で定められた必要専任教員数を充足している	・課程認定申請書類 ・教育課程の変更届	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	4-2	教員の業績等	・授業担当者がその授業科目を担当するにふさわしい研究業績を有している	・研究者情報	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	4-3	職員の配置の状況	・教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できている	・教員養成の状況についての情報の公表Webサイト「教職課程の運営に係る全学的組織　学内支援体制・教員組織」	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	4-4	ＦＤ・ＳＤの実施状況	・いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのＦＤ・ＳＤが確実に実施されている	・金沢大学FD活動報告書	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	4-5	授業評価アンケートの実施状況	・個々の授業科目の見直しに繋がるＦＤの機会で活用できるように、効果的な授業評価アンケートの作成・実施が行えている	・授業評価アンケート	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
5. 情報公表	5-1	学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１７２条の２のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第２２条の６に定められた情報公表の状況	・法令に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく適切に行えている	・教員養成の状況についての情報の公表Webサイト	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	5-2	学修成果に関する情報公表の状況	・大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できている	・卒業・修了者アンケート	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	5-3	教職課程の自己点検評価に関する情報公表の状況	・根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすい自己点検評価の評価書を公表することができている	・教員養成の状況についての情報の公表Webサイト	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
6. 教職指導	6-1	教職課程を履修する学生の確保に向けた取組の状況	・教職課程に関する積極的な情報提供の実施ができている ・教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れている	・教職総合支援センター「教職関連情報」 ・学域・学類の履修案内、オリエンテーションの配付資料等の該当箇所	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	6-2	学生に対する履修指導の実施状況	・必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えている ・「履修カルテ」を適切に活用できている	・学域・学類の履修案内案内、オリエンテーションの配付資料等の該当箇所 ・教員養成の状況についての情報の公表Webサイト「カリキュラム・ツリー」	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	6-3	学生に対する進路指導の実施状況	・学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じた キャリア支援体制が適切に構築されている	・キャリア支援室での教員就職支援 ・キャリアハンドブック	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
7. 関係機関等との連携	7-1	教育委員会や各学校法人との連携・交流等の状況	・教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができている	・Webシラバス	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	7-2	教育実習等を実施する学校との連携・協力の状況	・教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができている ・学校体験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供できている	・Webシラバス	■ 適切である □ 改善を要する事項がある
	7-3	学外の多様な人材の活用状況	・学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができている	・Webシラバス	■ 適切である □ 改善を要する事項がある

[特記事項]人間社会学域学校教育学類共同教員養成課程においては「教師になるためのノート」、養護教諭特別別科においては「養護教諭になるためのノート」配付し、活用している。